

「女性活躍加速のための重点方針2016」該当箇所		通し番号 63
大項目	I. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(9) 国際的な取組の推進	
細項目	① 国際女性会議WAW!を開催し、我が国の女性関連施策を国際社会に向けて発信するとともに、海外の好事例や知見を国内に共有することを通じ、我が国全体としての女性参画の拡大、人材育成の機運醸成を図る。	
該当施策名 (事業名)	国際女性会議WAW!の開催	
当該施策の背景・目的	<p>我が国は、安倍政権の最重要課題の一つである「女性が輝く社会」を実現するための取組の一環として、2014年から東京において国際女性会議WAW!(World Assembly for Women)を開催している。</p> <p>本会議は、女性・ジェンダー問題について日本の取り組みをアピールし、併せて国際的な意識向上・啓発を推進することが目的である。2回目となる2015年は、8月28日～29日に東京都内で開催し、国内外から約150名の女性分野で活躍するリーダーらが参加し、のべ2千人が傍聴した。また、参加者のアイデアや提案が「WAW! To Do 2015」として取りまとめられ、国連文書として発出された(A/C.3/70/3)。</p> <p>同会議は毎年の開催を予定しており、将来的に、同会議を女性分野における中核的な国際フォーラムに発展させ、国際社会における女性の活躍促進の議論を主導していくことを目指している。</p>	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算 28年度当初予算: 95,399 千円 28年度一次補正予算: - 千円 28年度二次補正予算: - 千円 29年度要求予算: 91,547 千円
		機構定員要求
		その他(具体的に)
当該施策概要	<p>女性活躍推進に貢献している国内外の著名人(政府関係者、有識者、財界人、メディア関係者他)の参加を得て、基調講演及びパネルディスカッションによる公開フォーラムを実施すると共に、テーマ別のラウンドテーブル(複数の小グループ会合により構成)を行う。また、同会議に際して全国で開催される女性関連イベントとの協力事業を実施。</p>	
担当府省庁	外務省	
	総合外交政策局女性参画推進室	

WAW!2015開催の目的・意義

1. 成長戦略の対外発信

- 成長戦略の取組・進捗状況を国内外に発信。
- 経済界と政府が一丸となり本気で取り組む姿勢をアピール。

2. 世界人口の半分を日本の味方にする(国際ネットワークの構築)

- WAW!より、国際的な女性活躍推進に向けたアイデアを発信。
- 日本特有の課題(自然災害、少子・高齢社会)の議論をリード。
- 日本の女性関連施策を後押しする国際ネットワークの構築。
→ 国内外の女性関連著名人を招待
● 毎年日本で開催することを目指す。

3. ムーブメントの浸透(国内ネットワークの育成・取組の浸透)

- 発信力のあるネットワーク(若手の女性起業家など)や頑張っているワーキングマザーを巻き込むことで、国内ネットワークを育成するとともに、草の根レベルでの政策の浸透を図る。
- YouTube WAW!専用チャンネルやWAW!当日に設置したフォトブースを活用し、有識者や一般の方からのメッセージを収集し発信。

WAW!実施日程

- 8月28日(金) 【午後】 公開フォーラム
- 【夕方】 レセプション
- 8月29日(土) 【終日】 ハイレベル・ラウンドテーブル
スペシャル・セッション
- 8月30日(日) 文化行事(東京都内視察)
UN Women 日本事務所開所式
- 7月1日(水)～10月31日(土) シヤイン・ウィークス

ハイレベル・ラウンドテーブル

E: 女性と経済

女性の活躍が経済に与える具体的な効果、社会全般や個別企業に浸透させるための方法、柔軟で多様な働き方の効用や様々な分野の女性の活力を活かした社会のあり方等について掘り下げた議論を行った。本年は「困難を抱える女性」のテーマでシングル・マザー等の抱える問題等についても議論。

G: グローバルな課題

女性のさらなる経済・社会・政治参画は、平等で平和な国際社会づくりに不可欠。女性のエンパワメントにつながる女児への教育、平和構築プロセスにおける女性の参画に加え、マルチステークホルダーでの国際協力の在り方について議論を行った。

WAW!2015 実施概要

WAW!2015 テーマ

今回のテーマは「WAW! for All」。様々な立場や世代の女性・男性がともに考え、ともに変革していくというメッセージ。

WAW! for All

—様々な立場や世代の女性・男性とともに—

WAW!2015実施結果

- 参加国等
海外42カ国、8国際機関
- 参加者からのアイデアや提案を取りまとめ、「WAW! To Do 2015」を发出。(国連文書番号A/C.3/70/3)



主な外国人参加者

- エレン・ジョンソン・サーリーフ(リベリア大統領)
- マリリン・ヒューソン(ロッキード・マーティン・コーポレーション会長、社長兼最高経営責任者)
- ザイナブ・ハワ・バングーラ (紛争下の性的暴力担当SRSG)
- シエリー・ブレア(女性のためのシエリー・ブレア基金創設者)
- ヘレン・クラーク(UNDP総裁)
- キャロライン・ケネディ(駐日米国大使)
- プムズイレ・ムランボニヌクカ(UN Women事務局長)
- イリナ・ボコバ(UNESCO事務局長)
- リンダ・A・ヒル(ハーバード・ビジネス・スクール教授)
- フレデリック・ヒレルソン (Novare Human Capital創設者兼CEO)

スペシャル・セッション

S: スペシャル・セッション

本年は新たに6つのスペシャル・セッションを開催。「トイレを通じた女性のエンパワメントの実現」「自然科学分野と女性」「ダイバーシティとイノベーション実践編」「ユース・テナーブル」「アジアにおける女性起業家への支援」「女性と防災」



シヤイン・ウィークス

シヤイン・ウィークス
イベント数
【240件】



大項目	I. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(9) 国際的な取組の推進	
細項目	② アジア・太平洋諸国を中心とする各国と我が国の交流で架け橋になっている女性の活躍に焦点をあて、これまでの貢献に感謝するとともに、シンポジウムや国際交流の場を通じて知見の交換及びネットワーキングを行う。これらを通じ、女性の視点から、日本とアジア・太平洋諸国の友好・信頼関係の更なる深化を図る。	
該当施策名 (事業名)	アジア・太平洋輝く女性の交流事業	
当該施策の背景・目的	<p>○アジア・太平洋諸国を中心とする各国と我が国の交流で架け橋になっている女性の活躍に焦点をあてるとともにシンポジウムや国際交流の場を開催することなどにより、女性の視点から、日本とアジア・太平洋諸国の友好・信頼関係の更なる深化を図る。</p> <p>○シンポジウムでは、様々な分野における女性たちの活躍の実態、アジア・太平洋諸国と日本の両方での経験から感じた魅力や課題を共有したうえで、女性活躍のロールモデルを示す。</p> <p>○国際交流の場では、更なる活躍を促すための、架け橋として活躍している女性及び支援者等の知見の交換及び交流(ネットワーキング)を行う。</p> <p>○さらに、架け橋女性の視点から見た日本の魅力を、パンフレット等の作成・配布等を通じて、国連婦人の地位委員会(CSW)やAPEC女性と経済フォーラム等の国際的な場で効果的に世界に向けて発信する。</p> <p>○平成28年度から5か年にわたり実施することを想定。</p>	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算 28年度当初予算: 61,982 千円 28年度一次補正予算: - 千円 28年度二次補正予算: - 千円 29年度要求予算: 61,982 千円
		機構定員要求
		その他(具体的に)
当該施策概要	<p>(1)「架け橋として活躍している女性」及び架け橋女性から見た日本の魅力に関する調査 「架け橋女性」等は以下を想定</p> <p>①日本で活躍しているアジア・太平洋諸国の女性 ②アジア・太平洋諸国で活躍している日本人女性 ③かつて日本で暮らし、母国に戻るなどして日本との架け橋となっているアジア・太平洋諸国の女性 ④日本国内においてアジア・太平洋諸国と深い関わりを持った事業を行っている日本人女性 ⑤架け橋女性と関係する国内外の企業・教育機関・団体等</p> <p>(2)シンポジウムや国際交流会議の開催 シンポジウム:「架け橋として活躍している女性から見た日本の魅力(仮)」をテーマとしたシンポジウムの開催 国際交流会議:日本及びアジア・太平洋諸国で活躍する架け橋女性及び関係者等の交流会の開催</p> <p>(3)総理・関係閣僚との懇談の場を設ける</p>	
担当府省庁	内閣府 男女共同参画局 総務課	

アジア・太平洋輝く女性の交流事業

課題・背景

アジア諸国を中心とする各国と我が国の交流で架け橋になっている女性の活躍に焦点をあて、これまでの貢献に感謝するとともに、シンポジウムや国際交流の場を開催する等により、女性の視点から、日本とアジア諸国との友好・信頼関係の深化を図る。

事業概要

調査事業

「架け橋として活躍している女性」及び「架け橋女性から見た日本の魅力に関する調査」

調査対象：

- 「架け橋」として活躍している女性
- 日本で活躍しているアジア・太平洋諸国の女性・女子留学生
- アジア・太平洋諸国で活躍している日本人女性・女子留学生
- 「架け橋」女性関係者
- 架け橋と関係のある国内外の企業・教育機関、団体等

シンポジウム・国際交流会議・感謝の意を示す懇談の場

シンポジウム

「架け橋として活躍している女性から見た日本の魅力（仮）」開催

国際交流会議

・日本及びアジア・太平洋諸国で活躍する架け橋女性及び関係者の交流会

総理・閣僚との懇談の場、感謝状等の贈呈

調査検討委員会

- ・調査の企画・検討・とりまとめ、
- ・シンポジウム・国際交流会議の企画、懇談の場の人選 等

委員：有識者、グローバル人材育成を行っている大学関係者、外国人人材が活躍している企業の関係者、関係省庁

「架け橋」女性の視点からの日本の魅力の発信

- ・パンフレットや動画の作成・配布
- ・CSW等国連の場で活用

- ・「架け橋」女性の視点から見た、日本の魅力の発見、及び、その魅力の効果的な発信
- ・女性の視点を活かした、日本とアジア諸国との友好・信頼関係の深化

「女性活躍加速のための重点方針2016」該当箇所		通し番号 65
大項目	I. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(10)職種・分野ごとの取組推進	
細項目	① 海上保安官や自衛官などの女性の採用・登用の拡大のため、女性職員、女性隊員等の意見を踏まえつつ、例えば船舶や艦艇、隊舎等における女性に配慮した設備の整備等、女性が働きやすい環境整備を進める。加えて、女性職員等に対する研修を充実させる。	
該当施策名 (事業名)	女性海上保安官の活躍推進	
当該施策の背景・目的	今後の女性海上保安官の採用・登用の拡大のため、巡視船艇等の建造時から、女性海上保安官等の意見を踏まえつつ、巡視船艇等における女性に配慮した設備の整備等、女性が働きやすい環境整備を推進する必要がある。	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算
		28年度当初予算: 27,457,817 千円 の内数 28年度一次補正予算: - 千円 28年度二次補正予算: 38,813,653 千円 の内数 29年度要求予算: 19,105,750 千円 の内数
		機構定員要求
	その他(具体的に)	
当該施策概要	巡視船艇等の建造に際し、女性職員の意見を踏まえつつ、女性に配慮した設備を備えた巡視船艇等の整備を推進する。	
担当府省庁	海上保安庁 装備技術部船舶課	

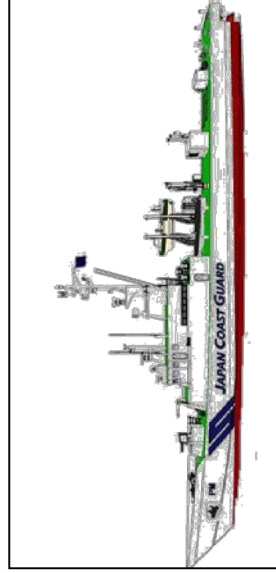
巡視船艇等の整備に関する取り組みの状況

○ 新造船の建造時における女性諸室の検証

- ・巡視船の建造に際し、女性諸室（風呂、便所、洗濯室）における機器や家具、手すりの配置等について、実際に巡視船艇で勤務する女性職員からの意見を参考にして、女性職員の視点に立った施設整備を実施。

女性海上保安官の採用・登用拡大、現場第一線における活躍の推進のため、女性職員の見解を踏まえつつ、女性に配慮した設備を備えた巡視船艇等の整備を推進

整備予定の巡視船艇等の代表例



中型巡視船（PM型）



小型巡視船（PS型）



大型巡視艇（30m型）